



第12回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

2020年11月25日にウェブセミナー第12回地域連携セミナーを開催いたしました。これまで定期的に行われておりましたが、地域連携セミナーですが、新型コロナウイルス感染症の関係でなかなか開催できずにおりましたところ、協和発酵キリン株式会社様よりウェブセミナーとして開催していただけるとお話をいただきまして、約1年ぶりに開催することができました。

今後も、新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは、ウェブでの開催を定期的に考えています。

さて、今回は前回に引き続き事例報告会といたしまして、

『終末期医療における

小規模多機能型居宅介護施設での看取りの可能性について』

というテーマでお話しさせていただきました。

- ・ひだかK&F訪問看護ステーション 若林 佑幸 様
- ・小規模多機能型介護施設いもりの里 原 昌弘 様
- ・当院 院長 野口哲先生

3名の方にご参加いただき、小規模多機能型居宅介護施設でお看取りをしたケースについて発表させていただきました。

また野口先生から日本における看取り状況や問題点等もお話していただきました。

初めてのウェブセミナーという形式で、当院としても不安な部分もありましたが、27の事業所の方が視聴してくださり、ありがとうございました。

今回発表した事例の概要

- ・在宅療養をしていたが、終末期に近づき徐々に介護負担が増加し、在宅療養が困難になった。
- ・患者、家族の希望で、定期的に自宅に帰られる施設を希望され、急変などあった場合に、すぐに駆け付けられる自宅から近くの場所を希望されていた。
- ・小規模多機能居宅介護施設としては、訪問診療、訪問看護が既に介入しており、継続して介入も可能で、急変の際の相談先、対応事業所があるということで受け入れをしてくださった。
- ・患者、家族の希望通り、定期的に自宅に帰ることができ、息を引き取られる当日まで家族と面会ができた。
- ・今回の事例により日頃からの訪問看護、施設、訪問診療との連携や相談し合える関係の構築が重要だと再認識することができた。

～院長 野口先生より ウェブセミナーを終えて～

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の中、協和キリン株式会社のご協力のもと、Web講演という形式で当院の地域連携セミナーを行いました。

今回は『終末期医療における小規模多機能型居宅介護施設での看取りの可能性について』をテーマに
いろどりの里日高の原昌弘氏、ひだかK&F訪問看護ステーションの若林佑幸氏、当クリニックの野口哲より講演させていただきました。
30名ほどの方々に視聴していただき、ありがとうございます。

今回の講演では、自宅と小規模多機能型居宅介護施設の両方で療養を行った患者様について、多職種協働を行いながら、
看取りとなった経過について3名の演者により話をさせていただきました。

患者御本人・御家族が人生の最終段階における療養場所として自宅を選択された場合、在宅医療の在り方において、自宅療養ありきではなく小規模多機能型居宅介護施設という社会資源を活用することができること、
また、小規模多機能型居宅介護施設という社会資源を活用することで御本人・御家族が無理なく、安心して笑顔で最期の時を過ごされることができ、が地域医療の皆様にも少しでも知って頂ければと思います。

今後も引き続き、定期的に当院での地域連携セミナーを開催して参りますので、宜しくお願い申し上げます、

医療法人幸生会
北坂戸ファミリークリニック
院長 野口 哲



次回の地域連携セミナーはウェブ形式で2021年3月頃を予定しております。詳細が決まり次第ご案内させていただきます。

次回の参加も何卒よろしくお願い申し上げます。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。

地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

北坂戸ファミリークリニック 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812